大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2021年 第39週（9月27日～10月3日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　倍増 」

第39週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,144例であり、前週比28.0%増であった。

定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、ヘルパンギーナ、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しんの順で、上位５疾患の定点あたり報告数はそれぞれ2.40、1.54、0.60、0.41、0.28である。

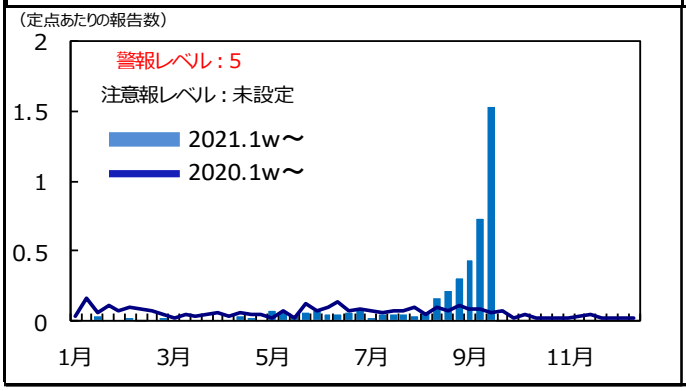
感染性胃腸炎は前週比11%増の476例で、北河内3.12、泉州2.95、中河内2.85、堺市2.79、南河内2.63である。

手足口病は107%増の305例で、大阪市北部5.93、北河内3.96、大阪市西部1.50である。

ヘルパンギーナは65%増の119例で、大阪市北部2.64、堺市0.95、北河内0.92である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比52%増の82例で、中河内1.25、大阪市南部0.61、南河内0.56であった。

手足口病



ヘルパンギーナ

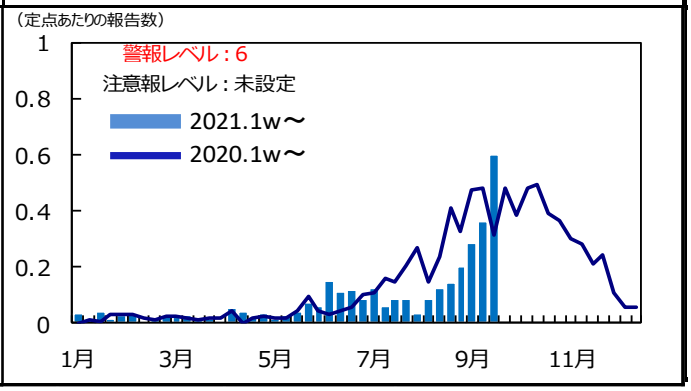


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2021年 第39週9月27日～10月3日）

第39週の順位	第38週の順位	感染症	2021年第39週の定点あたり報告数	前週比増減	2020年第39週の定点あたり報告数	2021年第39週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.40	11%増	1.61	１歳_17%
2	2	手足口病	1.54	107%増	0.06	１歳_55%
3	4	ヘルパンギーナ	0.60	65%増	0.31	１歳_42%
4	5	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	52%増	0.37	３歳_18%
5	5	突発性発しん	0.28	2%増	0.34	１歳_53%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第39週のコメント

～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症～　2014年9月、5類全数把握感染症となり、感染症発生動向調査では、全国で年間1,500例を超える報告があります

全数把握感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称である。広域β-ラクタム系抗菌薬以外に、他の抗菌薬にも耐性であることが多く、カルバペネム耐性遺伝子がプラスミドの伝達により複数の菌種に拡散していくことから、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。米国では、この10年間にCREの菌種全般の検出数は4倍に増加しており、国際的にも発生動向が注視されている。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)

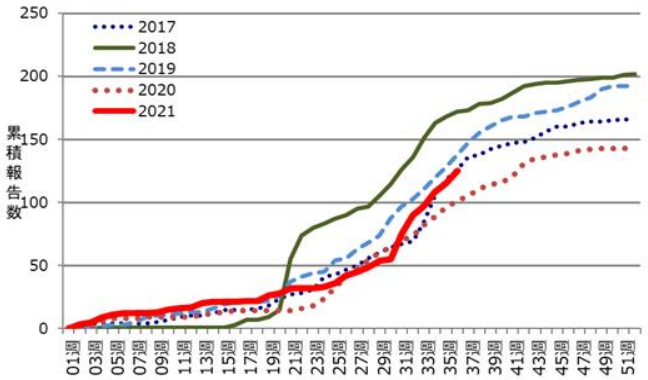


表２．大阪府全数報告数（ 2021年 第39週9月27日～10月3日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査> 全数報告　をご覧ください。）

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**6**	1		1			1	2	1	142
４類感染症	**レジオネラ症(肺炎型3例、ポンティアック型1例)**	**4**	1				1			2	101
５類感染症	**アメーバ赤痢**	**1**								1	35
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	**4**	1		1		1			1	133
	後天性免疫不全症候群	**3**								3	76
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**	1								71
	梅毒	**4**	1							3	581
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	**1**							1		19
新型インフルエンザ等感染症	**新型コロナウイルス感染症**	**1,645**	2020年1月以降累計　200,114								
結核 （2021年8月分）	**結核　新登録患者数：85名** （府内累積報告数　752名、内　肺･喀痰塗抹陽性　279名）		（内　肺･喀痰塗抹陽性　36名）								

（2021年10月5日　集計分）

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。